

再 評 価 調 書

NO. 1

事業名	林道事業	地区名	今庄・池田線 (南越前町杣木俣～池田町魚見)			
事業目的						
<p>広域な森林地域において森林の持つ公益的機能の維持、向上に不可欠な間伐等の森林整備を進めるとともに、間伐材等県産材の利用を促進するための骨格的林道を整備する。</p>						
全体事業内容						
全体延長 L=6,800m 幅員 W=5.0m						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成16年度	—	平成17年度	平成29年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H23年度まで)	進捗率 (H23末)	残事業費 (H24以降残額)	備考
予 算 額		1,782,000	896,500	50.3%	885,500	
財源 内訳	国 庫	898,736	478,832		419,904	1/2、5.5/10
	県	881,264	415,668		465,596	
	地元(市・町)	2,000	2,000		0	
費用対効果		1.20(総費用 22.6億円、総便益 27.1億円)				
事業の進捗状況	H23までの状況	延長 2,590m				
	H24以降残事業	延長 4,210m				
当初・前回との比較	前回評価時 (当初計画時)	今回	変更となった理由			
全体事業費	— (18.7億円)	17.8億円	測量の結果、線形を見直しコスト削減を図り、全体事業費を縮減する。			
完成予定年度	— (平成24年度)	平成29年度	被災の復旧に長期を要したこと、また、残土処分場の確保交渉に長期を要したことから、完了年度が5年間延長となる。			
事業を休止した場合の影響						
<p>利用区域内の約4割をスギを中心とした人工林が占めており、林道が今後整備されなければ、間伐等の適正な森林整備が進まず、公益的機能の低下が懸念されるとともに、間伐材等県産材の利用促進が図れなくなる。</p>						
備 考						

再 評 価 調 書

NO. 2

事業名	経営体育成基盤整備事業		地区名	川西中部地区（福井市波寄町他）		
事業目的						
<p>本地区は、昭和34年から昭和41年に福井石川特殊排水事業、昭和39年から昭和41年にかけて団体営圃場整備事業により10a区画に整備された。しかし、農道幅員が狭く、用排水施設の老朽化も著しいことに加え、一級河川片川沿いおよび谷間部が軟弱で農業経営の合理化の障害となっている。また、用水においては、一級河川九頭竜川より取水しているが、塩水遡上により、慢性的な水不足となっている。このため、国営かんがい排水事業と併せ、ほ場の大区画化をはじめとする生産基盤の整備を実施し、低コスト農業の確立を図る一方、法人化を目指した農業生産組織を設立し、効率的、安定的な農業経営の確立を目指す。</p>						
全体事業内容						
(受益面積 276.5ha) 区画整理 276.5ha 暗渠排水 276.5ha 客土 164.7ha						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度		工事着手年度	完成予定年度	
	平成17年度	—		平成17年度	平成26年度	
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H23年度まで)	進捗率 (H23末)	残事業費 (H24以降残額)	備考
予 算 額		5,008,500	3,916,500	78.2%	1,092,000	
財源 内訳	国 庫	2,504,250	1,909,908		594,342	1/2
	県	1,918,980	1,570,220		348,760	
	地元(市・町)	585,270	436,372		148,898	
費用対効果		1.16(総費用 38.1億円、総便益 44.3億円)				
事業の進捗状況	H23までの状況	区画整理 254.9ha 暗渠排水 221.8ha 客土 145.4ha				
	H24以降残事業	区画整理 21.6ha 暗渠排水 54.7ha 客土 19.3ha				
当初・前回との比較	前回評価時 (当初計画時)	今回		変更となった理由		
全体事業費	— (49.9億円)	50.1億円		客土材の現場内運搬が必要になったため。		
完成予定年度	— (平成24年度)	平成26年度		客土材の確保や搬入時期等の調整に不測の日数を要したため。		
事業を休止した場合の影響						
<p>残っているほ場整備および、暗渠排水工事が滞ることにより、低コスト農業および水田の汎用化が図れないため、事業効果が発現されない。また、用排水施設の老朽化が進行することにより、維持管理や水管理に係る農家への負担が増大し、農業経営が圧迫される。</p>						
備考						

再 評 価 調 書

NO. 3

事業名	経営体育成基盤整備事業		地区名	下舌・上黒谷地区（大野市下舌他）		
事業目的						
<p>本地区は、昭和46年から昭和50年にかけて団体営圃場整備事業により30a区画に整備された。しかし、溪流等の不安定な水源、用水路の老朽化による著しい漏水により、用水不足が課題であるとともに、排水施設も同様に老朽化が著しく、排水不良により稲作および転作等に支障をきたしている。このため、本事業により、大区画化整備、溜池の新設および用水路のパイプライン化、排水路整備を一体的に実施し、農地流動化の促進、担い手育成による効率的、安定的な農業経営の確立を図る。</p>						
全体事業内容						
(受益面積 82.2ha) 区画整理 82.2ha 暗渠排水 82.2ha						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度		工事着手年度	完成予定年度	
	平成18年度	－		平成18年度	平成26年度	
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H23年度まで)	進捗率 (H23末)	残事業費 (H24以降残額)	備考
予 算 額		1,848,000	1,699,125	91.9%	148,875	
財源 内訳	国 庫	924,000	844,800		79,200	1/2
	県	708,220	658,663		49,557	
	地元(市・町)	215,780	195,662		20,118	
費用対効果		1.10(総費用 20.5億円、総便益 22.7億円)				
事業の進捗状況	H23までの状況	区画整理 81.4ha 暗渠排水 56.1ha				
	H24以降残事業	区画整理 1.0式 暗渠排水 26.1ha				
当初・前回との比較	前回評価時 (当初計画時)	今回		変更となった理由		
全体事業費	－ (16.8億円)	18.5億円		埋蔵文化財調査の結果、遺構が発見され、工法変更を余儀なくされたため。		
完成予定年度	－ (平成25年度)	平成26年度		埋蔵文化財調査結果に伴って、本調査と工法変更が必要になったため。		
事業を休止した場合の影響						
<p>暗渠排水工事が滞ることにより、田面差の大きなほ場では、法尻からの湧水が著しく、また地下からの湧水も多い地域であるため、農地の汎用化が困難となり、湿田での営農継続による農家負担の増大が懸念され、さらには地域農業の減衰へもつながっていく。</p>						
備考						